

## 口腔機能低下に関するハイリスク高齢者を対象とした歯科受診勧奨について (令和5年度 実施内容の報告)

北九州市保健福祉局認知症支援・介護予防課

### 1 概要

口腔機能低下は、フレイル、要介護状態のリスクを高めることが示されている。

口腔機能低下に関するリスクが高いにもかかわらず歯科受診歴のない後期高齢者を歯科受診につなげることで、歯科医師による適切な評価・介入を受け、口腔機能低下防止を図り、フレイルを予防することを目的に歯科受診勧奨を行った。

### 2 対象者

- (1) 令和4年度後期高齢者健康診査受診者から 328人
- (2) 令和4年度後期高齢者歯科健診受診者から 42人 合計370人

抽出条件は図1のとおり

### 3 実施方法

- (1) KDB と福岡県後期高齢者医療広域連合から提供を受けた歯科健診データを使い、対象者を抽出する（令和5年7月に抽出）。
- (2) 対象者へ歯科受診勧奨チラシを郵送し、歯科受診勧奨を行う（令和5年9月末に郵送）。
- (3) チラシの郵送後約2週間後から順次、電話番号を把握している歯科健診受診者から抽出した対象者には電話で歯科受診勧奨を行う。
- (4) KDB を使い、歯科受診勧奨後から令和6年3月末までの歯科受診状況を確認する。

令和4年度の実施内容からの変更点

- ・チラシの内容を見直した。
- ・電話番号を把握している対象者にはチラシの郵送後、電話にて個別に歯科受診勧奨を行う。

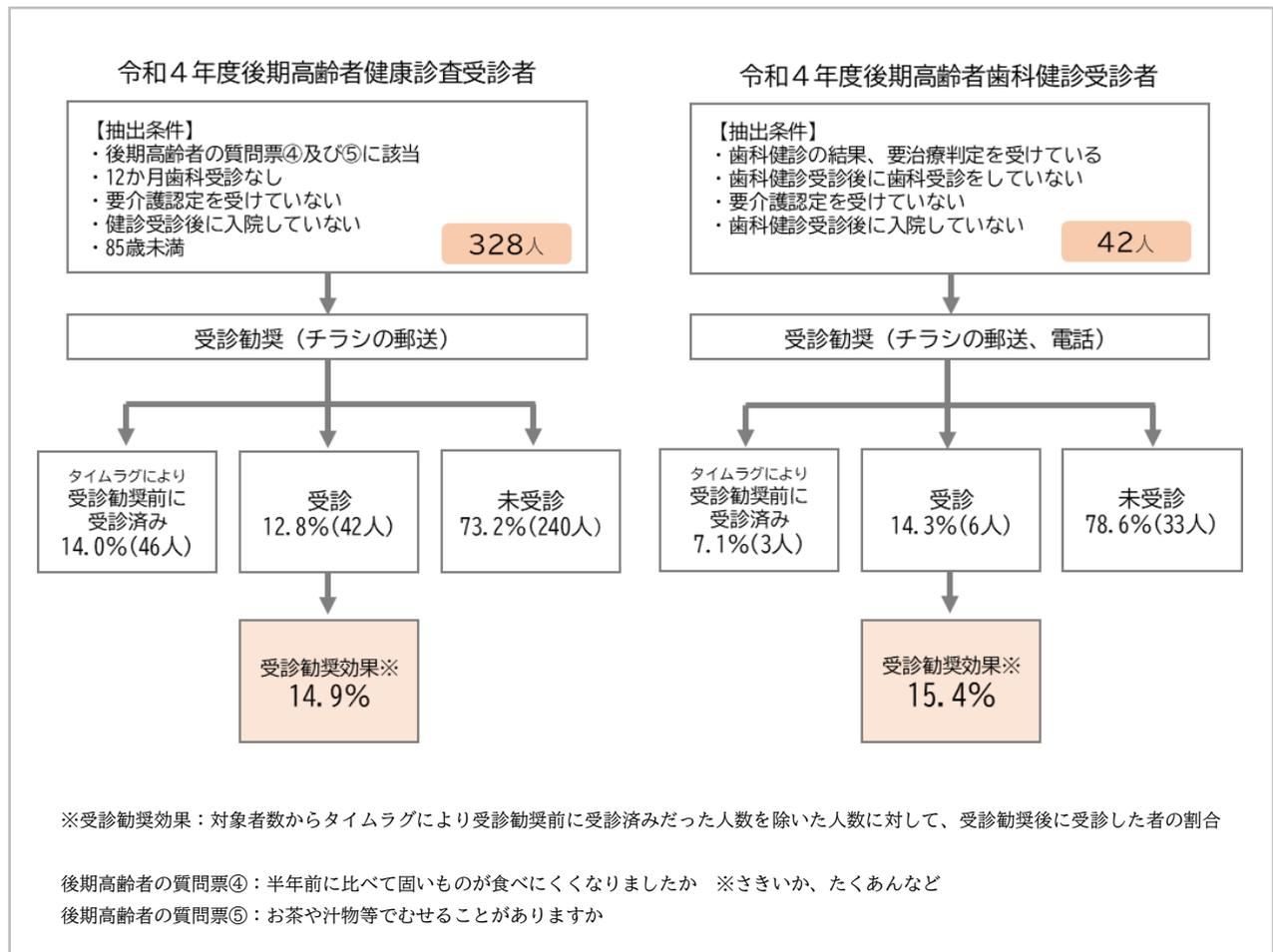
## 4 結果と今後の方向性

受診勧奨以降の歯科受診者の割合は前年度に比較して増加した。

また、チラシの郵送のみで受診勧奨を行った対象者と電話でも受診勧奨を行った対象者とは、受診勧奨効果に大きな違いはなかった。

これらの結果を踏まえた今後の方向性として、チラシの内容をさらに精査し、チラシの郵送による受診勧奨を継続する。

図1 令和5年度の実施結果



## 5 参考

図2 令和4年度の実施結果

